

あたらた 武部

自民党公認
公明党推薦

衆議院議員候補



ニッポンを
新たに!

光はオホーツクから
風は宗谷から!

アベノミクス第二幕の主役は「地方」

「アベノミクスにより雇用・賃金など経済の好循環がようやく動き始めましたね？」

武部 「失われた10・20年間」と言われていますが、日本は長い間デフレから脱却できずいました。賃金は下がり、企業の収益は下がり、失業者はあふれる。

2年前に私も皆様のご支援により初当選させていただきましたが、安倍総理を先頭に「景気回復」を最優先の課題として取り組んできました。

アベノミクス「3本の矢」により、経済成長はプラスに転じ、株価は政権交代前の2倍、就業者数は約100万人増加しています。特に若い人の雇用、高校生の就職内定率は約13%改善しました。

企業収益の増加↓雇用拡大↓賃金上昇↓消費拡大↓景気回復と経済の好循環がまさに生まれようとしています。再び暗い混沌の社会に逆戻りさせてはなりません。

「アベノミクス第二幕の主役は地方」とおっしゃっていますが？

武部 日本はデフレを脱却しつつありますが、地方ではまだまだアベノミクスの効果を実感する人は少ないと思います。

私たちのふるさとオホーツク・宗谷をはじめ、全国の隅々にまで一日も早くその効果を行き渡らせ、景気回復を実現し、日本を確実に再生させなければなりません。

アベノミクス第二幕スタート、その主役は地方なのです。デフレ脱却、景気回復、日本再生のためにはこの道しかありません。

「私たち地域の景気回復・創生のカギは？」

武部 進む人口減少社会の中、これまで以上にしっかりとした対策を国と地方自治体が一致協力して進める必要があります。基幹産業である農林水産業の振興をはじめ、中小、小規模企業が将来に希望をもつて、元気に頑張ることができる環境をつくらなければなりません。

「食」「健康」「観光」「環境」をキーワードに地域経済を活性化させ、子どもたちの笑顔があふれ、地域で女性が生き生きと活躍し、お年寄りが安心して暮らすことができるふるさとづくりに、力いっぱい取り組んでまいります。

武部あらた プロフィール

昭和45年7月20日斜里町生まれ(44歳)、B型
北見市立高栄中学校、道立札幌南高等学校、
早稲田大学法学部卒業
日本興業銀行勤務、
衆議院議員武部勤秘書を経て
平成24年12月 衆議院議員初当選
自民党農林部会副部長、
自民党水産部会副部長などを歴任

武部あらたが1期目で積み重ねた実績

- オホーツク**
- 北海道横断自動車道の凍結区間の解除
 - 網走港の小麦集出荷施設(総事業費約42億円)
 - 担い手経営安定法の改正(ビートの基準糖度引き下げ、交付金単価引き上げ等)
 - 網走市に日本体育大学北海高等学校の開校決定
 - サロマ湖第2湖口の漂砂対策
- 宗谷**
- 稚内港、杵形港フェリーターミナルのバリアフリー化
 - 鷺泊港新フェリーターミナルの完成
 - 香深港耐震強化岸壁の供用開始
 - 風力発電所のための稚内・宗谷送電網整備実証事業(約250億円)
 - 地(知)点拠点整備事業の稚内北星学園大学の選定
- 制度創設・改正**
- 加工原料乳生産者補給金単価の引き上げ(2年で実質1.05円)
 - EU向けHACCP水産加工・流通施設改修支援
 - 外国人技能実習制度の拡充・期間延長
 - 漁業用燃油緊急特別対策の創設
 - 森林整備加速化・林業再生基金事業の推進